

臨床医学演習

責任者・コーディネーター	腫瘍生物学研究部門 前沢 千早 特任教授		
担当講座・学科(分野)	小児科学講座、糖尿病・代謝内科分野、循環器内科分野、泌尿器科学講座 呼・アレ・膠原病内科分野、血液腫瘍内科分野、臨床検査医学講座 産婦人科学講座、消化器内科消化管分野、神経内科・老年科分野 衛生学公衆衛生学講座		
担当教員	外館 玄一郎 助教、梶原 隆 助教、房崎 哲也 特任准教授、阿部 貴弥 教授 中村 豊 准教授、佐々木 信人 講師、古和田 周吾 講師、高橋 進 講師 三浦 史晴 特任講師、中村 昌太郎 准教授、大庭 英樹 講師、八重樫 由美 助教		
対象学年	3	区分・時間数	講義 36.0 時間
期間	後期		

・学習方針（講義概要等）

医療の実践には、膨大な医学領域に関する基盤知識の修得ばかりでなく、個々の患者の病態生理を正確に把握し、適切な治療に結びつける問題解決能力を必要とする。本演習では、これまで学んだ基礎医学の知識に加え、3学年後期に学んだ臨床医学の基盤知識を統合活用し、鑑別診断、治療方針の決定に結び付く分析力・問題解決能力を演習形式で涵養する。
シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

・教育成果（アウトカム）

各種疾病の鑑別診断・治療の実践に必要な病態生理・診察に係る基盤知識を統合し、問題を解決する能力を示すことができる。

・到達目標（SBO）

個々の行動目標は授業担当者毎に授業の開始時に提示される。
以下、基礎病態・社会医学演習として行動目標の概要を示す。
1)演習問題の作問意図を指摘できる。
2)演習問題の関連知識を説明できる。
3)正解を導くに至った基礎知識と思考過程を説明できる。

・講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
12/25	金	1	腫瘍生物学 研究部門	前沢 千早 特任教授	臨床医学演習概論

12/25	金	2	小児科学講座	外館 玄一朗 助教	小児科学
12/25	金	3	糖尿病・代謝内科分野	梶原 隆 助教	内分泌・代謝病学
12/25	金	4	循環器内科分野	房崎 哲也 特任准教授	循環器病学
1/4	月	1	腫瘍生物学研究部門	前沢 千早 特任教授	確認講義 1
1/4	月	2	泌尿器科学講座	阿部 貴弥 教授	腎臓病学
1/4	月	3	呼・アレ・膠原病内科分野	中村 豊 准教授	呼吸器病学
1/4	月	4	呼・アレ・膠原病内科分野	佐々木 信人 講師	免疫病学
1/5	火	1	腫瘍生物学研究部門	前沢 千早 特任教授	確認講義 2
1/5	火	2	血液腫瘍内科分野	古和田 周吾 講師	血液病学
1/5	火	3	臨床検査医学講座	高橋 進 講師	臨床検査医学
1/5	火	4	産婦人科学講座	三浦 史晴 特任講師	産婦人科学
1/6	水	1	腫瘍生物学研究部門	前沢 千早 特任教授	確認講義 3
1/6	水	2	消化器内科消化管分野	中村 昌太郎 准教授	消化器病学
1/6	水	3	神経内科・老年科分野	大庭 英樹 講師	神経病学
1/6	水	4	衛生学公衆衛生学講座	八重樫 由美 助教	予防医学
1/7	木	1~4	腫瘍生物学研究部門	前沢 千早 特任教授	確認講義 4~7
1/8	金	1~4	腫瘍生物学研究部門	前沢 千早 特任教授	試験 1~4

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
登録済の教科書・参考書等はありません				

・成績評価方法

演習最終日（1月8日）に、統合型試験（200問）をMCQ方式で行う。 試験の内訳 ・臨床医学演習の内容 7割 ・基礎病態・社会医学演習(3年前期)・基礎医科学演習(2年)の内容 3割 6割以上を合格とする。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			